

2015年版「総合検査案内」 改訂に関するお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、弊社 2015年版「総合検査案内」につきまして、掲載情報の改訂の他、先生方のご要望・ご意見を反映させていただくよう見直しを行いました結果、次のように変更させていただくことになりましたのでお知らせ申し上げます。
何卒宜しくご了承の程、お願い申し上げます。

謹白



2015年度版「総合検査案内」の主な改訂ポイント

- 2015年4月に受託を開始する新規項目までを掲載いたしました。
- 大きなレイアウト等の変更はございませんが、備考等の文章表現の統一を行いました。

※ 改訂内容の詳細と対象項目につきましては、次ページ以降の一覧をご参照ください。



● 新規受託開始項目

既報 Informationにてお知らせしました新規受託項目・研究検査項目を、一覧(当報3ページ)にお示しいたしました。

● 掲載内容改訂項目

既報 Informationにてお知らせしました検査内容の変更や、所要日数の見直し等により、内容を一部改訂させていただきました。詳細は一覧(当報4～9ページ)にお示しいたしました。

● 掲載削除項目

既報 Informationにてお知らせしました受託中止項目を、一覧(当報10ページ)にお示しいたしました。

● その他

1. 参照資料(検体の採取・容器およびご提出方法)

検体の採取・容器およびご提出方法に「尿素呼気試験の呼気採取法(180ページ)」を追加し、容器変更に伴い「頸管腔分泌液中癌胎児性フィブロネクチンの検体採取方法(182ページ)」を変更しました。

2. 参照資料(細胞性免疫)

表面マーカー解析の分類と典型的反応パターンを削除し、「WHO分類 第4版, 2008年」からB細胞系腫瘍、T細胞系腫瘍(171、172ページ)のシェーマを掲載しました。

3. 参照資料(微生物)

感染症法に基づく特定病原体等の適正管理(173ページ)について、三種病原体等にベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスが追加(平成26年7月26日施行)されました。

4. 参照資料(削除)

内容の見直しにより、HBs 抗原・HCV 関連抗体 (HBs 抗原検出用体外診断用医薬品の国立感染症研究所における依頼試験成績、HCV 関連抗体検出用体外診断用医薬品の国立感染症研究所における依頼試験成績) および細胞性免疫(細胞分化抗原(抗体)に関する国際分類)の掲載を削除いたしました。

新規受託開始項目

新検査案内掲載ページ	項目コード	名称	BML Information No.
1,168	417	アルブミン/BCP改良法	2015-10
1,168	468	アルブミン・グロブリン比 [BCP改良法向け]	2015-10
7,166	540	リポ蛋白分画/HPLC法	2014-27
27,166	7689	total P1NP	2014-19
59,168	2891	M2BPGi (Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体)	2015-6
65,166	7941	特異的IgE Ara h 2	2014-21
68,129,168	12025	HIT抗体 (PF4-ヘパリン複合体抗体)	2015-7
68,129,168	7992	HIT-IgG抗体 (PF4-ヘパリン複合体IgG抗体)	2015-7
75,166	829	抗LKM-1抗体 (抗肝腎ミクロソーム-1抗体)	2014-22
78,167	519	抗デスマグレイン1抗体/CLEIA	2014-34
78,167	550	抗デスマグレイン3抗体/CLEIA	2014-34
78,167	581	抗BP180抗体 (抗BP180NC16a抗体)/CLEIA	2014-33
78,166	7957	抗MuSK抗体 (抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体)	2014-23
78,168	7954	抗アクアポリン4抗体	2015-4
112,168	159	高感度HBs抗原	2015-12
156,167	50001	Major BCR-ABL 高感度IS%	2014-35
156,167	12213	EGFR 遺伝子変異解析/リアルタイムPCR法	2014-30
156,169	12277	RAS 遺伝子変異解析	2015-17
157,169	7659	BRAF V600 変異解析	2015-13
160,167	12275	肺癌ALK/IHC	2014-32
160,167	6758	肺癌ALK/FISH	2014-32
160,169	1270,1741,1742	CD30染色	2015-16

研究検査の新規項目

166,208	12216	HCV Y93 INV法 (HCV薬剤耐性変異解析 Y93H相対定量)	2014-17 2014-26
166,208	12300	HCV NS5 INV法 (HCV薬剤耐性変異解析 L31/Y93)	2015-2
206	12158	鳥関連過敏性肺炎 (鳥飼病) 検査 セキセイインコIgG	2014-36
206	12159	鳥関連過敏性肺炎 (鳥飼病) 検査 ハトIgG	2014-36
206	12160	鳥関連過敏性肺炎 (鳥飼病) 検査 オウムIgG	2014-36

掲載内容改訂項目(既報分)

ページ	項目コード	名称	変更部分	変更点(新)	変更点(旧)	BML Information No.		
3	1269	アンモニア	コードNo.	1269	416	2014-39		
			基準値	30～86	18～70			
3,61	9423	SP-D (肺サーファクタント蛋白D)	統一コード	3F253-0000-023-052	3F253-0000-023-023	2014-38		
			検体必要量(mL)	血清0.3	血清0.2			
			所要日数	2～3	3～5			
			検査方法	CLEIA法	EIA法			
13	226	尿中NAG	コードNo.	226	370	2014-38		
			基準値	11.5以下	0.0～10.0			
14	4810	頸管腔分泌液中癌胎児性フィブロネクチン	容器	FN2	FN	2014-38		
18	104	カルシウム(Ca) -尿	検査方法	比色法(アルセナゾⅢ法)	比色法(OCPC法)	2014-38		
31	3572	クロナゼパム	統一コード	3L125-0000-023-210	3L125-0000-023-204	2014-38		
			検体必要量(mL)	血清0.3	血清0.5			
			所要日数	3～4	4～5			
			検査方法	LC-MS/MS法	HPLC法			
	3021	ジアゼパム	統一コード	3L130-0000-023-210	3L130-0000-023-204	2014-20		
			検体必要量(mL)	血清0.2	血清0.6			
			所要日数	4～6	4～7			
	6171	クロバザム	統一コード	3L145-0000-023-210	3L145-0000-023-204	2014-20		
			検体必要量(mL)	血清0.2	血清0.6			
			所要日数	4～6	4～7			
	3573	ニトラゼパム	統一コード	3L165-0000-023-210	3L165-0000-023-204	2014-38		
			検体必要量(mL)	血清0.3	血清0.5			
所要日数			3～4	4～5				
33	2187	アルベカシン	治療有効濃度	治療有効濃度 ピーク値:15.0～20.0 トラフ値:2.0未満 (単位: µg/mL)	治療有効濃度 ピーク値:9.0～20.0 副作用発現域 トラフ値:2.0以上 (単位: µg/mL)	2015-5		
			1680	テイコプラニン	治療有効濃度	治療有効濃度 トラフ値:10.0～30.0 (単位: µg/mL)	治療有効濃度 5.0～10.0 (単位: µg/mL)	2015-5
					6748	ポリコナゾール	所要日数	4～6
39	659	サイログロブリン(Tg)	コードNo.	659	4443	2014-38		
			基準値	33.70以下	32.7以下			
40,75	383	TSAb/EIA	コードNo.	383	3993	2014-38		
			検査項目名	TSAb/EIA	TSAb			
			統一コード	5G300-0000-023-023	5G300-0000-023-001			
			検体必要量(mL)	血清0.5	血清1.3			
			所要日数	3～5	4～6			
			検査方法	Bioassay+EIA法	Bioassay+RIA・2抗体法			
			基準値	120以下	180未満			
58	3910	尿中L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)	備考	L-FABP濃度が1.5未満の場合、クレアチニン補正値は「換算不可」と報告させていただきます。	L-FABP濃度が3.0未満の場合、クレアチニン補正値は「換算不可」と報告させていただきます。	2014-20		

ページ	項目 コード	名称	変更部分	変更点(新)	変更点(旧)	BML Information No.
64	792	IgG ₂	実施料, 判断料	388 判免	なし	2015-9
65	4721	MAST-33	コードNo.	4721	874	2014-20
			統一コード	5A100-2805-023-052	5A100-2804-023-025	
			検査方法	CLEIA法	EIA法	
65	7958	TARC	統一コード	5J228-0000-023-052	5J228-0000-023-023	2014-20
			検体必要量 (mL)	血清0.4	血清0.3	
			所要日数	2~3	3~5	
			検査方法	CLEIA法	EIA法	
69	1393	HLA-A,B	所要日数	3~5	3~4	2014-38
	1678	HLA-DR	所要日数	3~5	3~4	2014-38
	6614	HLA-A 遺伝子型	所要日数	4~6	4~5	2014-38
	6615	HLA-B 遺伝子型	所要日数	4~6	4~5	2014-38
	6616	HLA-C 遺伝子型	所要日数	4~6	4~5	2014-38
	3450	HLA-DRB1 遺伝子型	所要日数	4~6	4~5	2014-38
	3380	HLA-DPB1 遺伝子型	所要日数	4~6	4~5	2014-38
	3435	HLA-DQA1 遺伝子型	所要日数	4~6	4~5	2014-38
3390	HLA-DQB1 遺伝子型	所要日数	4~6	4~5	2014-38	
74	7901	抗シトルリン化ペプチド抗体定量 (抗 CCP 抗体定量)	統一コード	5G167-0000-023-051	5G167-0000-023-023	2014-20
			所要日数	2~3	3~4	
			検査方法	CLIA法	EIA法	
75	765	抗ミトコンドリア抗体半定量 (AMA半定量)	検査項目名	抗ミトコンドリア抗体半定量 (AMA半定量)	抗ミトコンドリア抗体定量 (AMA定量)	2014-18
77,129	1781	ループスアンチコアグラント 定量/蛇毒試験	コードNo.	1781	9437	2014-38
			基準値	1.2以下	1.3以下	
				(NR: Normalized Ratio)	(RATIO)	
79	922 7480	RPR法 半定量	検査項目名	RPR法 半定量	RPR法 定量	2014-18
	920	FTA-ABS法 半定量	検査項目名	FTA-ABS法 半定量	FTA-ABS法 定量	2014-18

掲載内容改訂項目

ページ	項目コード	名称	変更部分	変更点(新)	変更点(旧)
手引き-4		血色素量	緊急報告値の範囲	5.0 以下 g/dL	5.0 g/dL 以下
		総ビリルビン	緊急報告値の範囲	12.0 以上 mg/dL	12.0 mg/dL 以上
		尿中レジオネラ抗原	緊急報告値の範囲	項目削除(2014年5月末にて中止)	(+)の場合
1	402	アルブミン・グロブリン比	統一コード	3A016-0000-023-919	3A016-0000-023-271
13	9194	胃の健康度ABC分類	統一コード	3B346-0000-023-920	なし
15	578	葉酸	保存	溶血注意	なし
			備考	溶血は高値の影響があります。	なし
24	1107 1774	マンデル酸	下欄	◆スチレン、エチルベンゼンに係る尿中代謝物の検査については、検査項目が同一であるので、これらの有機溶剤を同時に使用している場合は、検査結果の評価については考慮する必要があります。	なし
	1107	スチレン	下欄	※2014年11月より、スチレン、トリクロロエチレン(トリクロロエチレン)、テトラクロロエチレン(テトラクロロエチレン)は、有機溶剤中毒予防規則(有機則)から特定化学物質障害予防規則(特化則)の対象物質に移管されました。特定化学物質健康診断では、労働基準監督署への分布区分報告は不要となっています。	なし
	1117 1119	トリクロロエチレン			
	1109 1111	テトラクロロエチレン			
37	700	抗利尿ホルモン	所要日数	4～7	4～10
39	592	T ₃ 摂取率	備考	(削除)	【チャート報告書】
	600	サイロキシン結合グロブリン	備考	(削除)	【チャート報告書】
40,75	656	TSHレセプター抗体	検査項目名	(第1世代)	なし
			備考	(判定基準) (+):15.1以上 (±):10.1～15.0 (-):-10.0～10.0	(欄外等)
	5761	TSHレセプター抗体定量	検査項目名	(第2世代)	なし
			備考	【チャート報告書】	なし
			3265	TRAb定量/ECLIA	検査項目名
備考	【チャート報告書】	なし			
43	183	アルドステロン-尿	所要日数	3～5	4～7
46,54	646 197	HCG定量	備考	ビオチンを投与している患者(1日の投与量5mg以上)からの採血は、投与後、少なくとも8時間以上経過してから実施してください。	ビオチンを投与している(1日の投与量5mg以上)方からの採血は投与後少なくとも8時間以上経過してから実施してください。
47,76	5173	抗IA-2抗体	所要日数	3～6	3～9
50	3407	NSE	備考	採血後、1時間以内に血清のみを分取し、ご提出ください。	なし
59	6388	高感度心筋トロポニンT	備考	ビオチンを投与している患者(1日の投与量5mg以上)からの採血は、投与後、少なくとも8時間以上経過してから実施してください。	ビオチンを投与している(1日の投与量5mg以上)方からの採血は投与後少なくとも8時間以上経過してから実施してください。
62	5880	免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比	検査項目名	(FLC κ/λ比)	なし
65	856	View アレルギー 36	統一コード	5A100-2806-023-023	5A100-2806-023-025
68	4333	血小板表面IgG (PA-IgG)	下欄	血小板数が少ない場合は、参考値報告になる場合があります。	なし
76	4450	抗下垂体抗体-1		研究検査 213ページへ移動	
86	3294	尿素呼吸気試験/IR法	備考	採取方法は180ページをご参照ください。	なし
109	7119	HPV核酸検出(HPV-DNA)高リスク型/Invader	統一コード	5F101-1405-085-951	5F101-1405-085-899
			備考	*本検査では型判定はできません。	なし
	2790	HPV-DNA型判定/PCR-rSSO	統一コード	5F100-1405-085-898	5F100-1405-085-899
112	689	HBc抗体/CLIA	備考	なし	S/CO値10.00以上の時は高力価
113	3395	HBV遺伝子型/PCR-Invader	統一コード	5F015-1405-023-951	5F015-1405-023-899

ページ	項目コード	名称	変更部分	変更点(新)	変更点(旧)
117	1706 57466	赤血球表面マーカー検査	統一コード	51796-0000-019-662	51795-0000-019-662
122		リンパ球幼若化・その他	下欄	*開封厳禁 検体採取後の開栓、もしくは開栓してからの血液注入は、雑菌混入が結果に影響を及ぼす可能性があり、コメント付報告とさせていただきます。	*開封厳禁 検体採取後の開栓、もしくは開栓してからの血液注入は、雑菌混入によるコンタミネーションにより検査値が求められる可能性がります。また、コンタミネーションが観察されない場合も念のため参考値報告とさせていただきます。
125	4497	骨髓像特殊染色 ALP 染色	検体必要量	新鮮血の未固定塗抹標本 1 ~ 2 枚	下表参照
	4496	骨髓像特殊染色 エステラーゼ染色	検体必要量	骨髓塗抹標本未固定標本 2 ~ 4 枚	下表参照
	4498	骨髓像特殊染色 PAS 染色	検体必要量	骨髓塗抹標本未固定標本 1 ~ 2 枚	下表参照
	4500	骨髓像特殊染色 スズン黒B染色	検体必要量	骨髓塗抹標本未固定標本 1 ~ 2 枚	下表参照
	4495	骨髓像特殊染色 ペルオキシダーゼ染色	検体必要量	骨髓塗抹標本未固定標本 1 ~ 2 枚	下表参照
	4499	骨髓像特殊染色 鉄染色	検体必要量	骨髓塗抹標本未固定標本 1 ~ 2 枚	下表参照
			骨髓像特殊染色	下欄	◆2 抗凝固剤の入らないスライド作製(抗凝固剤は酵素を抑制しますので染色性が変化します。従ってデータが出ないこともございますのでご了承ください。)
133	127	蛋白定量-胃液	単位	mg/dL	なし
136	8026	一般細菌 塗抹鏡検	備考	材料が便、大腸又は培地のときは実施しません。	材料が便、大腸又は培地の時、検査は実施しません。
137		参照資料	菌種名表記	モラクセラ	ブランハメラ
139	8025	真菌 塗抹鏡検	備考	KOH法は材料が皮膚、ツメ、毛髪の場合に実施いたします	KOH法は材料が皮膚、ツメの場合に実施いたします
	8032	真菌 培養・同定	備考	材料が皮膚、ツメ、毛髪の場合、検体をお預かり後2週間かかります。糸状様真菌(カビ)をお疑いの場合は真菌単独でご依頼ください。 環境からの落下細菌、ふきとり等の非臨床材料の真菌培養・同定検査は実施しません。	材料が皮膚、ツメの場合、検体をお預かり後2週間かかります。糸状様真菌(カビ)をお疑いの場合は真菌単独でご依頼ください。
			検査方法	好気培養同定	なし
	8400	酵母様真菌薬剤感受性試験	備考	MIC値でのご報告となります。判定結果(S.I.R)については報告いたしませんのでご了承ください。	なし
8632	糸状様真菌薬剤感受性試験	備考	MIC値でのご報告となります。判定結果(S.I.R)については報告いたしませんのでご了承ください。	なし	
142	6341	結核菌群抗原定性		143ページへ移動	
	1737	結核菌 IFN-γ測定 (T-SPOT.TB)	下欄●2 報告パターン 下欄●2 備考	*判定保留、判定不可および陽性(8~19スポット)の場合はスポット数を別紙報告いたします。 白血球数およびリンパ球数の少ない患者様については検体量を多めにご提出ください。白血球数およびリンパ球数がお分かりの場合には採血量を弊社検査室にご相談ください。	*判定保留および陽性(8~19スポット)の場合はスポット数を別紙報告いたします。 なし
143	8680	抗酸菌種同定(18菌種)	容器	(空欄)	OA
	8660	結核菌群同定	容器	(空欄)	OA
	8661	マイコバクテリウムアビウム・イントラセラー核酸同定	容器	(空欄)	OA
	8052	抗酸菌 薬剤感受性試験 4薬剤以上	検体必要量	菌株(培地)又は生検体	菌株
			保存	菌株:室温、生検体:冷蔵	室温
		備考	生検体の場合は、培養もご依頼ください。培養陽性後、検査を実施します。菌量不足の場合は増菌後検査を実施いたします。	下表参照	
144	6405	ヘリコバクター・ピロリ 薬剤感受性試験	容器(菌株)	(空欄)	HP

ページ	項目コード	名称	変更部分	変更点(新)	変更点(旧)
145	8630	ブドウ球菌 TSST-1	備考	LT2(2未満)は未検出、陽性凝集反応がみられた場合は×2、×4～×1024(希釈倍率)、GT1024(1024以上)で報告いたします。	LT2(2未満)、×2、×4～×512、GT1024(1024以上)倍で報告
	8616	サルモネラ菌種同定	備考	○抗原及びH抗原(1相、2相)にてサルモネラを血清学的に分類	○抗原及びH抗原にてサルモネラを菌種レベルで同定
149	8654	便培養(2菌種)	備考	シゲラ・サルモネラの有無を陰性時は(-)、陽性時は別紙にて菌名の報告をいたします。	シゲラ・サルモネラの有無を(+)又は(-)で報告
	8655	便培養(3菌種)	備考	各菌の有無を陰性時は(-)、陽性時は別紙にて菌名の報告をいたします。 ○157が陽性の場合はペロトキシンも自動的に実施します。	各菌の有無を(+)又は(-)で報告。 ○157が(+)の場合はペロトキシンも自動的に実施します。
	8659	便培養(4菌種)			
150	参照資料	菌種名表記	モラクセラ	ブランハメラ	
		酵母様真菌(膿汁)	○	▲	
156	6698	EGFR遺伝子変異解析	統一コード	8C051-9951-070-951	8C051-9951-070-899
	2655 2656	K-ras遺伝子変異解析(大腸癌)	統一コード	8C221-9951-070-898	8C221-0000-070-843
			下欄	K-ras遺伝子解析(大腸癌)、RAS遺伝子変異解析 2. 検体の選択にあたっては、日本臨床腫瘍学会の「大腸がん患者におけるRAS遺伝子(KRAS/NRAS遺伝子)変異の測定に関するガイダンス 第2版 2014年4月」を参照してください。	K-ras遺伝子解析(大腸癌) 2. 検体の選択にあたっては、日本臨床腫瘍学会の「大腸がん患者におけるKRAS遺伝子変異の測定に関するガイダンス」を参照してください。
157	1844	UGT1A1*28*6	統一コード	8C933-0000-019-951	8C933-0000-019-899
	12128	TTR遺伝子変異解析	統一コード	8C851-9951-019-848	なし
158	5961	組織 1臓器診断	備考	手術材料は再固定、脱脂、脱灰等の処理が必要となる場合があるため、他の検体より所要日数が必要になることを予めご了承ください。 上部消化管と下部消化管は各々別検体としてご提出ください。 標本作製と診断を含みます。 病理組織固定法 189ページ参照。 ◆解剖例の診断は実施していません。 ◆妊娠12週を超える胎児及びそれに相当する大きさの胎児は受託していません。	標本作製と診断を含みます。 病理組織固定法 189ページ参照。 ◆作製したブロックの返却はいたしませんので、予めご了承ください。 ◆解剖例の診断は実施していません。 ◆妊娠12週を超える胎児及びそれに相当する大きさの胎児は受託していません。
	5962	組織 2臓器診断			
	5963	組織 3臓器診断			
159		免疫組織化学染色	検査方法	LSAB法、ポリマー法	LSAB法、高分子ポリマー法
160	518	HER2/FISH	提出材料(必要量)	未染標本3枚	未染スライド標本3枚
162		電子顕微鏡検査	備考	検査用に提出された光顕スライド、電顕ブロックは精度管理上当社にて保管管理をしています。	検査用に提出された光顕スライド、電顕ブロック、撮影ネガは精度管理上当社にて保管管理をしています。
164	参照資料		検出抗原	(削除)	CD30 (Ki-1) (Ber-H2)
				メラニンA	なし
165	5974	細胞診(婦人科材料)	検査方法	鏡検スクリーニング法	パパニコロウ染色
	5976	細胞診(婦人科自己採取法)	検査方法	鏡検スクリーニング法	パパニコロウ染色
			下欄	◆2 婦人科自己採取法について自己採取では十分な検体が得られず、正確な判定が困難な場合があります。	なし
	5971	細胞診(呼吸器材料)	検査方法	鏡検スクリーニング法	パパニコロウ染色
	5972	細胞診(蓄痰法)	検査方法	鏡検スクリーニング法	パパニコロウ染色
	5975	細胞診(液状検体・その他)	検査方法	鏡検スクリーニング法	パパニコロウ染色、ギムザ染色
2725	婦人科LBC	検査方法	鏡検スクリーニング法 LBC法(Liquid Based Cytology法)	LBC法(Liquid Based Cytology法)	
173	参照資料		所持等の禁止 《一種病原体等》	国又は政令で定める法人のみ所持(施設を特定)、輸入、譲渡し及び譲受けが可能	国又は独立行政法人その他の政令で定める法人であって厚生労働大臣が指定したもののみ所持(施設を特定)、輸入、譲渡し及び譲受けが可能
			所持等の届出 《三種病原体等》	MERS コロナウイルス(追加)	

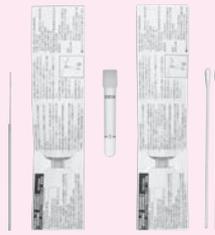
ページ	項目 コード	名称	変更部分	変更点(新)	変更点(旧)
175		参照資料	女子採尿方法	(生理血が混入した検体は、項目によっては検査値に影響することがあるので、使用を避け、後日改めて採取するようにしてください。)	
213	6184	アレルギー特異的リンパ球刺激試験	保存	(削除)	*開封厳禁
	6185		下欄	この採血管(B-33)はキャップをはずしてまた戻すことが可能です。その他の容器による検体採取後の開栓、もしくは開栓してからの血液注入は、雑菌混入が結果に影響を及ぼす可能性があり、コメント付報告とさせていただきます。	小児・乳児の採血はB-33容器をおすすめします。この採血管はキャップをはずしてまた戻すことが可能です。
	6186				
221	1020	BCR/ABL 変異解析 (Ver.2)	統一コード	8C123-9951-019-951	8C123-9951-019-899
222	7355	CYP2C9*2	統一コード	8C911-1302-019-951	8C911-1302-019-899
	7356	CYP2C9*3	統一コード	8C911-1303-019-951	8C911-1303-019-899
	7357	CYP2C19*2	統一コード	8C921-1302-019-951	8C921-1302-019-899
	7358	CYP2C19*3	統一コード	8C921-1303-019-951	8C921-1303-019-899
225	3455	MDR1 (C3435T)	統一コード	8C901-9951-019-951	8C901-9951-019-899
	3456	MDR1 (G2677T, A)	統一コード	8C901-9951-019-951	8C901-9951-019-899
227	4022	ミトコンドリア遺伝子 3243変異	統一コード	8C804-9951-019-951	8C804-9951-019-899
229	5845	アポリポ蛋白E 遺伝子型(genotype)	統一コード	3F207-0000-019-951	3F207-0000-019-899
233	4768	環境検査 落下細菌	検査方法	落下菌法	落下法

掲載削除項目

項目コード	名称	項目補足	BML Information No.
416	アンモニア	2015年3月末にて中止	2014-39
523	γ-GTアインザイム	2015年3月末にて中止	2014-38
370	尿中NAG	2015年3月末にて中止	2014-38
439	総鉄結合能(TIBC)/CPBA法	2015年3月末にて中止	2014-38
440	不飽和鉄結合能(UIBC)/CPBA法	2015年3月末にて中止	2014-38
1217	P1NP (インタクト1型プロコラーゲン-N-プロペプチド)	2014年9月末にて中止	2014-20
4443	サイログロブリン(Tg)	2015年3月末にて中止	2014-38
3993	TSAb (甲状腺刺激抗体)/Bioassay + RIA・2抗体法	2015年3月末にて中止	2014-38
7791	遊離テストステロン	2015年1月末にて中止	2014-40
610	C-反応性蛋白(CRP)/ネフェロメトリー法	2015年3月末にて中止	2014-38
4506	免疫グロブリンκ/λ比	2015年3月末にて中止	2014-38
4627	CAP シングルアレルゲン- ホウチュウ	2014年9月末にて中止	2014-20
9437	ループスアンチコアグラント定量/蛇毒試験	2015年3月末にて中止	2014-38
3832	抗デスマグレイン1抗体/EIA法	2015年3月末にて中止	2014-38
3833	抗デスマグレイン3抗体/EIA法	2015年3月末にて中止	2014-38
3081	抗BP180抗体/EIA法	2015年3月末にて中止	2014-38
5000、7725	ロタウイルス/CF	2015年3月末にて中止	2014-38
4929、7514	レオウイルス/CF	2015年3月末にて中止	2014-38
7365	HBs抗原/RPHA法(検診)	2015年3月末にて中止	2014-38
5011	BCR/ABL変異解析(Ver.1)	2015年3月末にて中止	2014-38

● 容器

容器変更

容器名称	新	旧
B-14 血中アンモニア専用管		
O-83 クラミジア・トラコモチス抗原 (IDEIA) 用	 <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> 男性用 女性用 </div>	 <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> 男性用 女性用 </div>
CT/NG PCR-S STDスワブ採取セット		
FN2 頸管腔分泌液中癌胎児性 フィブロネクチン用		

掲載削除容器

容器名称
OA 3%小川培地
GBS H.ピロリ/PCR用

